

6月1日(木)

◇ 心理学講演ライブ

3年生のロングホームルームの時間に実施したものです。

高校生活を送る中で様々な人間関係に悩んだり、進路決定の時期が迫る3年次において、不安やプレッシャーを感じるが多くなることを踏まえ、命の大切さと夢や目標を持つ大切さを伝えることを目的としたものです。3年生の学年団が保健室とも相談しながら企画しました。

講師の中村大輔先生は臨床心理士で本校のキャンパスカウンセラーでもあります。「心を育てる」「心のメンテナンス」「主人公としての機能」というテーマで、音楽を交えながらの講演会でした。3年生の先生方によると、生徒からの質問も多く出て、「一人一人が人生の主人公」という言葉や講演の中で歌われた歌詞に感銘を受けたようだ、ということです。

講演いただいた中村先生、ありがとうございました。企画・調整、実施していただいた3年生や保健室の先生方、お疲れ様でした。

6月2日(金)神戸新聞 朝刊

※神戸新聞社の許諾(2018年4月30日まで)を得て掲載しています。転載はできません。

区 灘

「受験勉強夢を持って」

神戸高校歌と心理学の講演

受験勉強に熱が入る高校3年生に向け、歌を交えながら命の大切さやストレスとの付き合い方について学ぶ「心理学講演LIVE(ライブ)」が1日、灘区城の大通1の神戸高校で開かれた。

昨年11月から同校のスクールカウンセラーを務める臨床心理士でシンガー・ソングライターの中村大輔さん(33)が講師を務めた。中村さんは、古里の長崎県で、雲仙普賢岳噴火災害を目的の当りにし、神戸に転居し

た後、阪神・淡路大震災や同年代だった少年が逮捕された神戸連続児童殺傷事件にショックを受けて、心理学を学び始めたという。講演には、3年生約360人が参加。中村さんは、心の健康を保つ秘けつとし

て、「夢や希望などの方向性、心身の健康、家族や友人らの愛が大切」と説明。参加者に向け、「自分の軸を見つけ、夢や希望を見つけてほしい」と呼び掛けた。最後に全員で合唱曲「旅立ちの日に」を歌った。

3年瀬尾将太さん(18)は「受験も心を折らずに、夢を見つけながら頑張りたい」と話していた。

(赤松沙和)



僕らが生きるこの時は同じ空でつながり
今思うその意思を 今願うならさ
いのちの歌を歌い続けよう 風に飛んで
夢の長さを思い届けますあなたの思いは
いっしょに守っていきましょう

歌を交えながらライブ形式で講演する中村大輔さん(中央)＝灘区域の大通1